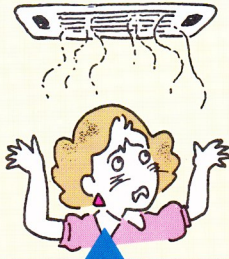


店舗やオフィスで使用中のエアコンのこんな症状でお困りではありませんか。

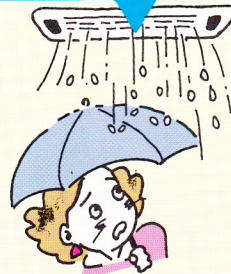
カビ臭い
ニオイがする



水が
飛んでくる



冷暖房
能力が弱い



吹出口に
結露が出る

などの症状があれば

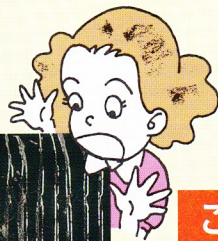
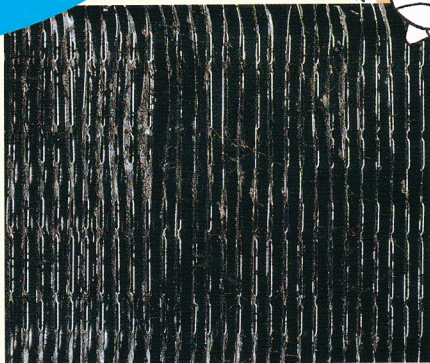
クリーニングの必要があります。

原因は、エアフィルターでは取り除けない微細なホコリ。

このホコリが、エアコンの熱交換器に付着し、消費電力の増加や様々な故障を引き起こしたり、カビ・悪臭・水もれ、ドレンホースつまり等の症状を起こすのです。早め早めのクリーニング実施が、エアコンを長持ちさせ節約にもつながります。

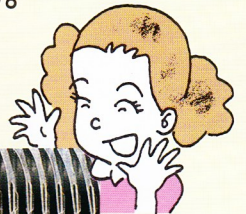
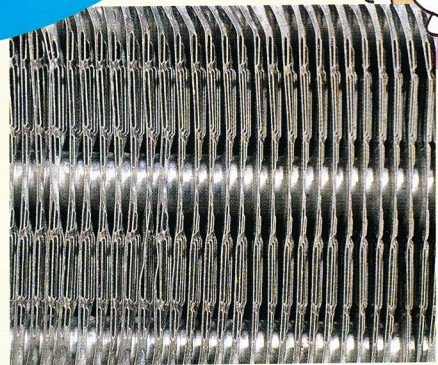
クリーニング前の

熱交換器



クリーニング後の

熱交換器



これが…



エアコンクリーニングで
流れ出た汚水。

臭いがとれる

エアコンの
機能回復

長持ちする

節約につながる

室内機も
キレイになる

…など

サリット
いっぱい

エアコンクリーニングを!!

天井に埋め込んだまま、スピード洗浄します。 大がかりな工事は、必要ナシ!

電源遮断

作業中は、エアコンの電源を切ります。作業前にエアコンにつながっているブレーカーを、切っていただきます。

周辺養生

エアコン下部周辺を養生します。

部品の取りはずし

1

洗浄できる状態まで部品を取りはずします。



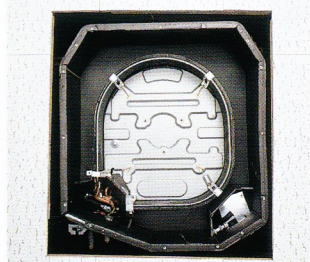
2

順次、部品・電気機器を取り外していきます。



3

ケーシング・熱交換器のみの状態にしてから洗浄します。



洗浄要領

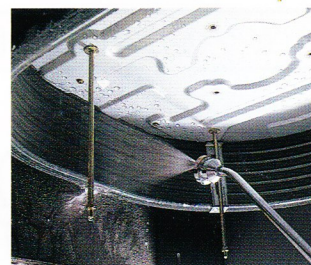
薬液洗浄

薬液を熱交換器などの全体に噴霧し、浸透させます。



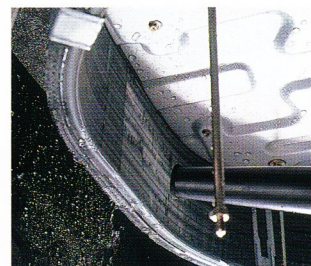
水洗浄

清水で薬液を完全に洗い落とします。



水切り

エアブローし、熱交換器の水分をとばします。



部品の取り付け

電気機器の絶縁抵抗を確認し、配線、ネジなどを元通りに組み立てます。

電源ON運転確認

高圧圧力と低圧圧力、吹き出し・吸い込み温度などを測定し、製品の動作を点検します。

作業報告

全ての作業が完了。チェックリストをお客様に提出し、ご説明致します。



洗浄時間は全体で、約3時間!

※室内機のタイプによって多少変わります。